

千葉市一般廃棄物処理施設基本計画（令和5年6月改定版）の概要

改定内容

- ・「第3編：新港清掃工場更新整備 施設基本計画」を新規に作成した。
- ・「第1編：千葉市一般廃棄物処理施設整備計画」における最終処分場と汚水処理場の整備スケジュールについて時点修正を行った。

第1編：千葉市一般廃棄物処理施設整備計画

焼却施設・リサイクル施設・最終処分場・汚水処理場の将来的な施設配置等のあり方について、長期的・総合的な視点で検討した「千葉市一般廃棄物処理施設整備計画」では、整備スケジュールを下図の通り計画している。焼却施設については、3清掃工場体制から3用地2清掃工場運用体制へ移行する。

焼却施設	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13			
北谷津清掃工場用地	平成28年度末廃止				環境アセス等				建設				令和8年度稼働							
北清掃工場用地	平成8年度稼働												基幹整備して令和12年度末まで延命化							
新港清掃工場用地	平成14年度稼働												計画、調査等				令和13年度稼働開始		リニューアル整備	

リサイクル施設	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13		
新浜リサイクルセンター	平成7年度稼働																		
次期リサイクル施設	用地検討・地元住民合意形成												基本設計		生活環境影響評価		建設	令和13年度稼働開始	

最終処分場	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
新内陸最終処分場	平成12年度埋立開始																
次期最終処分場	用地検討、地元住民合意形成												環境アセス等		令和19年度供用開始予定		

汚水処理場	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
塵芥汚水処理場	昭和49年稼働																
次期汚水処理場	用地検討		基本設計		発注仕様書作成		PFI導入可能性調査		アドバイザー		建設		令和7年度中稼働				

第2編：新清掃工場（北谷津用地）施設基本計画

■ 新清掃工場（北谷津用地）の焼却方式

- ・可燃ごみに加え、他施設から発生する焼却主灰や破砕不燃残渣の溶融処理を行って最終処分量の減容化が可能となることや、災害廃棄物を念頭に多様なごみ質に対応できることを視点に、「ガス化溶融方式」を選定する。

■ 最終処分場の延命化

- ・本市唯一の最終処分場である新内陸最終処分場は、現在のまま埋立を継続した場合、令和13年度には埋立が完了する見込みである。
- ・新清掃工場（北谷津用地）が整備されることにより、他施設の焼却主灰や破砕不燃残渣についても資源化が図られて最終処分量が減少し、埋立完了は令和19年度まで6年間の延長が見込まれる。

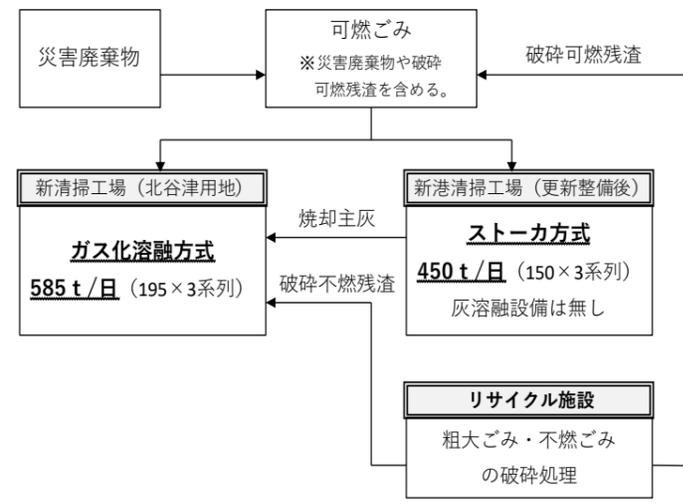
第3編：新港清掃工場更新整備 施設基本計画

■ 新港清掃工場更新整備の焼却方式

- ・新清掃工場（北谷津用地）では、新港清掃工場から排出される焼却主灰を溶融処理できることから、新港清掃工場更新整備においては溶融機能は付帯しないものとする。
- ・各プラントメーカーの技術的な熟度が高く、事業者選定における競争性や施設稼働安定性の確保において優位性がある「ストーカ方式」を選定し、リニューアルにより整備する。

■ 新港清掃工場更新整備の施設規模

- ・平成27年度に新清掃工場（北谷津用地）の施設規模を検討する際、可燃ごみを北谷津と新港で2等分する考え方から両工場の可燃ごみの処理能力を522t/日とし、新清掃工場（北谷津用地）については、更に焼却主灰と破砕不燃残渣の量を加味して585t/日と計画していた。
- ・一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（令和5年3月策定版）における令和13年度ごみ量推計値を基に、新清掃工場（北谷津用地）は既に建設工事に着手済みであることから、新港清掃工場更新整備に必要な施設規模を算出した結果、522t/日から450t/日へと見直した。



- ・令和13年度可燃ごみ推計量の10%を災害廃棄物用に上乗せして見込んでいる。それを超える災害廃棄物量については、工場稼働日数増や、新清掃工場（北谷津用地）への焼却主灰搬入量制限により対応する。
- ・災害廃棄物処理計画で推計されている災害廃棄物量を、発災後3年間で処理する計画としている。
- ・具体的な実施方法の検討が開始されるプラスチック資源回収量を考慮し、その分の可燃ごみ量を減じて施設規模を算定した。